

アナログとデジタルの融合



TOP
Message

中越合金鋳工株式会社
代表取締役社長
本多 真貴
Honda Masaki



日頃から経営者協会様には大変お世話になっております。今回の寄稿にあたり、当社の品質管理の歩みについて少しお話しさせて頂きたいと思います。

当社の品質管理の基盤は、1978年のデミング賞受賞に遡ります。創業から24年経過し、当時、鋳物業界では当たり前であった勘と経験に頼るものづくりからの脱却、そして世界トップの鋳物品質を目指し、挑戦したと聞いております。デミング賞受賞によって全社的品質管理(TQC)の仕組みが完成し、当社の品質管理レベルを大幅に向上させ、その結果、様々な分野のお客様から信頼を得ることができました。当時の考えは現在も、脈々と受け継がれています。

時は流れ、昨今世の中的环境は急速に変化しており、当社もその変化に対応出来る様にいろいろなことに挑戦しています。当社が着目しているのは半導体分野で、スパッタリングというプロセスに使われている製品の拡販に注力しております。この分野では、高い品質水準が要求されます。お客様にご満足いただける様、これまで培った鋳物技術と最新のデジタル技術を融合させ、品質管理レベル向上の取組みを推し進めています。それを実現するために特に大事にしていることは、血の

通ったコミュニケーションです。デジタル技術の進化に伴い、コミュニケーションの取り方が多様化する中、当社はアナログ的な従来からの対面での対話を重視しています。縦割り組織にある部門間の垣根を超えた対面での対話によって、あらゆる意思決定が速やかに行われ、お客様へのスピーディーな対応が可能になります。また、人に依存する部分がまだまだ多い鋳物業界で対面での対話は仕事を言語化、技能伝承を確実なものにすると共に相互理解を深めることで、一人一人のやる気や仕事への責任感にも繋がります。

これからもお客様のニーズや社会環境の変化に対応できるよう、経営理念である「和と前進」の和を大切に、アナログとデジタルの融合により様々なことに挑戦し続け、全社をあげて努力を積み重ね前進して参ります。

Profile

2005年 中越合金鋳工株式会社入社
2006年 取締役副社長
2010年 代表取締役社長

中越合金鋳工株式会社

事業内容 銅合金鋳物を使用した各種製品の製造、販売
※昭和53年(1978年) デミング賞実施賞を受賞
令和5年(2023年) とやま女性活躍企業認定



編集長



コーセル株式会社
清澤 聡
Kiyosawa Satoshi

おかげさまで第4号を発行できました！

この会報誌は、様々な企業・組織や、働く人々を「品質」という輪(和)でつなぎ、新たな「気づき」を生み出すための「タネ」を届けていきたいとの思いで2022年に創刊しました。第4号では、品質管理委員会の取り組みの中から「県内企業見学会」と「品質管理／保証に関する取り組み事例紹介&グループディスカッション」にしばり、「心ワクワク！参加したくなる！」ページづくりにチャレンジしてみました。皆様のご意見、待ってっちゃ〜♪

＼皆様のご意見をお聞かせください！／

～読者アンケートにご協力ください～

品質管理委員会 会報「join♡T」をご愛読いただき、ありがとうございます。今後の内容充実に向けて、皆様のご意見をいただきたく、読者アンケートにご協力ください。…3分程度で回答できます！



連絡先：富山県経営者協会 品質管理委員会(担当：北野、安田)
info@toyama-keikyo.jp

広げよう Quality Firstの輪 深めよう QC的ものの見方・考え方

企業と人 04

COSEL コーセル株式会社

■経営理念「品質至上を核に社会の信頼に応える」

所在地 富山県富山市上赤江町一丁目6番43号
設立 1969年7月
資本金 60億4,288万1,850円(2024年7月現在)
従業員数 721名(連結)(2024年5月20日現在)
事業内容 電子機器、電機機械器具の製造および販売
主要製品 直流安定化電源(スイッチング電源など)



取材日イチバンの長谷さんの笑顔(2024/10/30 コーセル立山工場)

コーセル株式会社
立山工場
品質保証部 品質保証二課
長谷 竜斗
Hase Ryuto



自己紹介をお願いします！

はじめまして！長谷竜斗(はせ りゅうと)と申します。
高校卒業後は地元で働きたいと思い、家族からの勧めもあって2019年4月に入社しました！
入社時から品質保証部 品質保証二課(立山工場)に所属し、今年で6年目になります。
「品質保証部は、幅広く対応しなければいけない部門で、いろいろなことができそう…」との思いで、未知の世界ではありましたが、ドキドキとワクワクで入社したのを覚えています。

立山工場の役割と担当業務をご紹介します

コーセルは、直流安定化電源(スイッチング電源)、ノイズフィルタの設計開発、生産、販売を行っています。立山工場では、ネジなどで固定するタイプの「ユニット電源」を生産する当社の主力工場で、約150名が勤務しています。
現在、私は、品質保証部門に所属し、購入部品や製品の評価、検査のほか、ものづくりに必要な測定器管理など、製品の品質保証全般に携わる業務を行っています。
最近、ユーザーさんの監査や、サプライヤーさんの監査の対応も行っています。

(主な担当業務)

- 測定器管理、協力会社への品質向上支援(2社)、板金部品の品質向上
- ・測定器管理…測定器の登録、定期校正など
- ・協力会社への品質向上支援…品質会議への参加、製作場所移管対応など
- ・板金部品の品質向上…板金部品の不具合対応、部品メーカーとの品質会議、QC診断など

仕事で力を入れていること、取り組みたいこと

最近、部品知識向上のために担当している板金メーカーとのやり取りに力を入れています。そのため、現場訪問や品質会議などを通して、知見を増やすことに日々がんばっています。
また、協力会社との関わりが増えてきていることや、今後新製品立ち上げに関連する業務に携わりたいとの思いもあって、生産現場に関連する知識を増やすことで、ものづくりの品質向上に関わっていきたいと思っています。

—長谷さん、石川課長と、
取材メンバーでバチリッ！



上司(課長)から一言(I)

若さを活かし、何事にも果敢に挑戦し、成長し続けています。協力会社、サプライヤーとの品質向上に向けた取り組みをさらに推進し、将来的には品質管理部門のリーダーとして、当社製品の品質を世界トップレベルに引き上げる原動力となってくれることを期待しています。

上司(部長)から一言(T)

入社6年目となり、社内の生産部門だけでなく、社外に対しても、自信をもって発言できるようになってきました。今後は、顧客対応など更に業務幅を広げ、お客様に信頼いただけるような対応ができる存在になってくれることを期待しています。

編集後記

会報「join♡T」をお読みいただき、ありがとうございます。第4号も皆さまのご支援により無事発行することができました。心よりお礼申し上げます。今回の特集ページでは、当委員会の活動の柱である「県内企業見学会」と「事例発表&GD」にフォーカスしました。特に「事例発表&GD」は、様々な業種の品質管理／保証に関する取り組み事例を紹介し合う場であり、また事例発表を踏まえて自社の悩み、困りごとをはき出しながら、解決に向けたヒントにつながるディスカッションをしていただく場として活用いただいています。これからの活動内容を紹介することで、参加企業、仲間を増やし、ながら、「業種を越えた品質の輪」を広げていけるよう編集委員一同努めてまいります。どうぞお楽しみに。(O)

9月20日(金) 事例発表会とGDを行いました！

今回は三光合成(株)さんと武内プレス工業(株)さんに事例発表いただきました！

事例発表会① × 三光合成株式会社 × 「毎月21件！クレーム発生からのスタート」



発表：品質部門 部長 七山 修一氏

■ 事例

ポンプの生産量増加から発生した様々なクレームに対して、「管理者が一方向的に指示」をするのではなく、現場の人を交えて「全員で不良対策」を行い、多くの問題解決に取り組んだ事例を発表していただきました。

■ 取り組み内容

検査員確保に向けて多国籍人材を採用し、発生源対策を進めたものの、思うように流出防止できず、「日本人でないからダメなんだ！」と差別発言が出る始末。。。そこで、パーベキューパーティを企画、コミュニケーションをとりながらベースとなる5S教育からスタートし、クレーム低減につなげられていました。

！ 気づき

多国籍の従業員が働かれているため、文化や価値観の違いからクレームの流出防止には相当ご苦労されたと思います。このため、まずはコミュニケーションを図って和をつくり、品質管理の基礎である「5S」からスタートされていたことが印象に残りました。

事例発表会② × 武内プレス工業株式会社 × 「品質活動の取り組み」

発表：品質保証室 室長 池口 健朗氏 / 滑川工場 品質課長 松井 聡裕氏

■ 事例

自社のチューブ製品や缶製品の品質向上を目指し、定期的に「品質会議」を開催されたり、「外部認証(ISO等)」の活用や強度とトレードオフとなる「ボトル缶の軽量化」に取り組まれた事例を発表していただきました。

■ 取り組み内容

「ボトル缶の軽量化」をしながら缶体強度を確保するなど、設計品質の向上に向けて取り組まれていました。具体的には、炉内熱風循環の見直しで、焼き付け炉温度設定の最適化などに取り組まれた事例を紹介いただきました。またQC検定(品質管理手法)の推進などにも積極的に取り組まれていました。

！ 気づき

環境に配慮された軽量化で強度あるボトル缶をつくりながら、お客様へ安全で安心な製品を届けるため、複数のカメラで細かい箇所をチェックする検査方法により、高品質なもののづくりを実現されていました。



GD(グループディスカッション)



GD参加者の声(M)

Aさん:課題を項目ごとに分類するやり方は分かりやすく、話し合いをスムーズに進めることができました。
Bさん:私たちのグループでは人材育成について話し合いましたが、他社の方とも共感できることが多く、良い機会となりました。

編集委員から一言(M)

事例発表会とGDは、普段聞くことのできない他社の品質に対する取り組みや、様々な異業種の担当者の方と意見交換できる貴重な機会となりました。交流を通して得ることができた学び、問題、課題に対する解決策、対応策やヒントがてんこ盛りで、とても勉強になりました。

GD終了前に別グループと共有会



活発な情報交換が行えました！

7月24日(水) 県内企業を訪問してきました！

訪問先: 立山科学グループ

■ 経営理念

私たちは堅実経営に徹し
社会の発展に貢献することを使命とし
全員が感謝と尊敬の心で協力し合い
常に半歩先の未来を実現する



■ グループの事業・製品

電子部品事業



チップ型電子部品

家電から・車載・宇宙機器まで様々な製品に使用されています！

生産装置・精密部品事業



搬送ロボット

工場内の運搬を無人で行うロボットを自社開発！

電子機器事業



温度センサー

ガスコンロ向けでは国内トップシェア！

システム・サービス事業



高齢者見守りサービス

機器製造だけでなく自社でコールセンターまで運用！

グループ全体で様々な分野に取り組んでいます

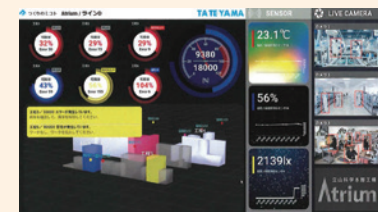
■ DX・品質の取り組み

DX

DXに積極的に取り組んでおり、「働き方改革と生産性向上の両立」を中期計画に掲げ、新工場の建設やスマート工場の構築を通じて企業成長を推進されています。

品質

「品質は生命(いのち)」を社是とし、高品質な製品を提供。製品の企画から開発、製造、販売、サービスまでの一貫した品質保証体制を構築し、品質の維持・向上に努められています。



「つくりのミコト」

設備の稼働状況・工場内の温度や人の動きをモニターで見える化し、あらゆる問題に素早く対応できるようになっていました。

品質向上に向けた主な取り組み

3H(初めて・変更・ひさしぶり)に、プラス1H(変だな)を加え、ラインリーダーが項目出しから評価を行い、未然防止につなげておられました。これは、マネしたい！

■ 工場見学



本部工場(アトリウム)

2022年に完成した最新工場！
IT・IoT・ロボットが協調するスマートファクトリー



展示コーナー

ディスプレイがきれいで、製品がどこに使われているかについてもよくわかりました。



オフィス

フリーアドレスで、ペーパーレス化もされていてドラマに出てくるような都会的なオフィスでした。

参加者の声(S)

・最先端のスマート工場を自社独自の技術で作り上げていて、ITの技術力が高いと感じました。
・グループ会社がそれぞれ特徴を持っており、お互いの強みを生かして各分野で活躍できていると思いました。
※ほかにも多くの方から「参加してよかった！」とのご意見をいただきました。

編集委員から一言(O)

工場・事務所の作業環境が良く、品質にも繋がっていると感じました。フリーアドレスでコミュニケーションスペースもあり、「工場」というよりは、「オフィス」にいました。ひと昔前の工場の「3K」とは真逆の「綺麗、快適、可視化」の「いいね!3K」を感じました。理想の職場♪



カフェテリア方式の食堂を導入し、栄養バランスの整った食事を提供！

※これらの活動のほか、県外企業見学研修会(10/17～18)、講演会・GD(12/5)、勉強会(2/20)など、多くの方々に参画いただきながら活動を行っています!!(K)